＜＜定例記者会見次第＞＞

令和８年 10 月５日（月）
午前 10 時 00 分～
議会全員協議会室

●発表事項

１．「大河ドラマ『豊臣兄弟！』トークライブ in 小田原」
　　の開催について　　（資料１）

２．協働プロジェクトについて　　（資料２）

３．AI オンデマンド交通実証事業について　　（資料３）

４．その他

（事務担当）　広報広聴室広報係　TEL33-1261

定例記者会見資料１
令和８年 10 月５日（月）
経済部観光課
電 話 0465-33-1521

「大河ドラマ『豊臣兄弟！』トークライブ in 小田原」の開催について

１　概要

本市では、「北条五代」の大河ドラマ化を目指す取り組みを進めています。その一環として、現在NHKで放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」から出演者や時代考証を担当した専門家を招いた「大河ドラマ『豊臣兄弟！』トークライブ in 小田原」を開催します。

また、今後ドラマで描かれることが期待される小田原合戦や、徳川家康と小田原北条氏の関係性に焦点を当て、多くの人にその歴史的重要性を知っていただけるよう、併せてさまざまな関連イベントも開催します。

今回の取り組みを通じ、幅広い世代に北条氏の魅力を分かりやすく伝え、小田原北条氏のさらなる知名度向上を図ります。

２　開催内容

【イベント名】大河ドラマ「豊臣兄弟！」トークライブ in 小田原
【日　　時】11月22日（日）午後２時～４時10分（開場：午後１時15分）
【内　　容】１部　講演会「家康と小田原北条家の絆」
講師：黒田 基樹氏（駿河台大学教授／ドラマ時代考証）
２部　トークライブ
ゲスト：松下 洸平氏（俳優／徳川家康役）


松下 洸平氏


黒田 基樹氏

【開 催 場 所】小田原三の丸ホール 大ホール（本町1-7-50）
【観　覧　料】無料
【観 覧 申 込】（１）インターネットによる申し込み
市ホームページ内、申込フォームで
（２）はがきによる申し込み
はがきに「郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、希望人数（２人まで）、同行者氏名（フリガナ）、車いす席の希望有無、手話通訳の有無」を記載の上、下記宛先までお送りください。
＜宛先＞
〒250-8555　神奈川県小田原市荻窪300番地
小田原市経済部観光課　「豊臣兄弟！」トークライブ観覧希望　宛

▲申込フォーム

【申 込 期 間】10月５日（月）～30日（金）※インターネット申し込み、はがきともに必着
【当 選 発 表】応募多数の場合は、抽選を行います。
- 当選者の発表は、11月９日（月）以降に当選はがき（入場整理券）の発送をもってかえさせていただきます。
- 落選の場合はご案内しませんので、ご了承ください。
- 抽選に関するお問い合わせはお受けできません。

【共　　催】小田原市、（一社）小田原市観光協会

３　関連イベント

（１） 関東の覇者 北条氏政 新規収集資料展

大河ドラマ「豊臣兄弟！」にも登場する北条氏政の未公開資料を展示します。

【日時】11月17日（火）～30日（月）

【場所】小田原城天守閣　２階展示室

【費用】天守閣の入館料

（２） 企画本コーナー設置

大河ドラマ「豊臣兄弟！」関連の企画本コーナーを設置します。

【日時】10月14日（水）～11月29日（日）※休館日を除く

【場所】中央図書館（かもめ）及び小田原駅東口図書館

【費用】無料

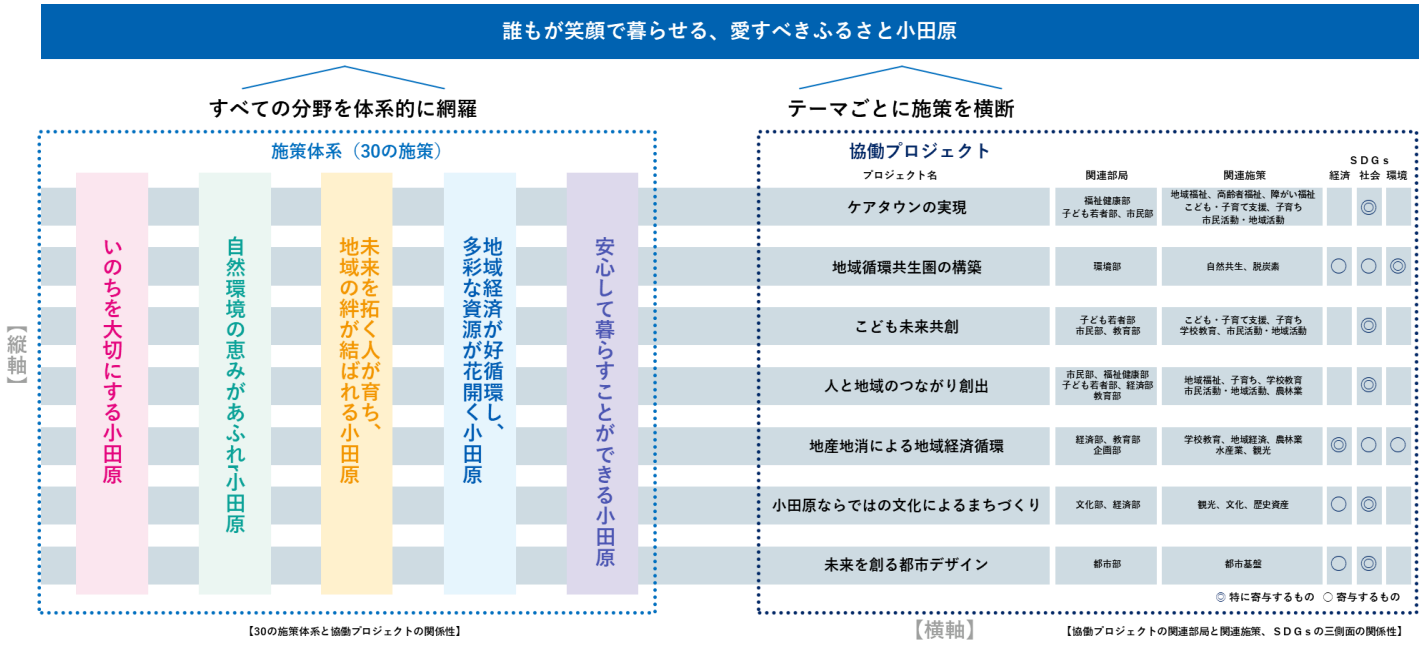
＜参考＞徳川家康と小田原北条氏の関わりについて

徳川家康と小田原北条氏との関係は、幼少期を駿府で人質として過ごした家康が、同じ境遇であった北条氏規（氏康の子）と交友関係を結んだ事に始まります。その後、武田氏の滅亡によって領地が接したことをきっかけに、家康と北条氏が深い関わりを持つようになった天正 10 年(1582 年)ごろの両家では、旧武田領国の支配を巡った「天正壬午の乱」という争いが起こります。しかし、領土の取り決めを交わした両家は和睦し、その証として、家康の娘である督姫が、北条氏五代目当主である氏直に嫁ぐことになりました。家康は、北条氏が豊臣秀吉と敵対した際に最後まで両者の和平交渉の仲介者となるなど、両家は深い信頼で結ばれていました。小田原合戦によって北条氏が滅亡した後、北条氏の旧領である関東は、その盟友であった家康に引き継がれることになります。

定例記者会見資料２
令和８年 10 月５日（月）
企画部企画政策課　電話 0465-33-1255
福祉健康部福祉政策課　電話 0465-33-1863
環境部環境政策課　電話 0465-33-1473
子ども若者部子ども政策課　電話 0465-33-1923
市民部地域政策課　電話 0465-33-1388
経済部産業政策課　電話 0465-33-1512
文化部文化政策課　電話 0465-33-1756
都市部都市政策課　電話 0465-33-1252

協働プロジェクトについて

今年度より開始した第７次小田原市総合計画「おだわら協創プラン」第１期実行計画（以下、「おだわら協創プラン」という。）では、分野ごとに整理した30の施策体系に加えて「協働プロジェクト」を位置付けました。



■「協働プロジェクト」とは

市民や地域団体、企業などの多様な主体と連携しながら進める７つのプロジェクトです。

おだわら協創プランの視座である「本市が有する地域資源の価値を最大限に生かす」「役割分担にとどまらない多様な主体との協働の深化」を体現するものです。

＜７つのプロジェクトの直近の動き＞

１　ケアタウンの実現　【福祉政策課】

(1) 第３回小田原市地域福祉計画策定検討委員会　（福祉政策課）

日時：10月７日（水）午後２時～４時30分

場所：社会福祉センター　ホール（おだわら総合医療福祉会館４階）

(2) ケアタウン懇談会　（福祉政策課）

※非公開開催

2　地域循環共生圏の構築　【環境政策課】

(1) ネイチャーポジティブ講演会　（環境政策課）

日時：11月11日（水）午後６時～（予定）

場所：市役所７階　大会議室

主催：おだわら環境志民ネットワーク

3　こども未来共創　【子ども政策課】

(1) 第２回地域こども・子育て懇談会　（子ども政策課）

日時：11月25日（水）午前９時30分～11時30分

場所：生涯学習センターけやき　視聴覚室

(2) 小田原市障がい児等サポートプロジェクト戦略会議　（子ども政策課）

日時：令和９年３月27日（土）午後１時～３時30分（予定）

場所：市役所７階　大会議室

4　人と地域のつながり創出　【地域政策課】

(1) 農と食を介した多世代交流の場づくり「体験・交流イベント」（地域政策課）

日時：10月17日（土）・11月28日（土）午前10時～正午

場所：酒匂小学校　菜園

(2) 次世代の関わりしろ懇談会（地域政策課）

※非公開開催

(3) 市民活動の祭典　第11回ＵＭＥＣＯ祭り（地域政策課）

日時：11月29日（日）午前10時～午後３時

場所：おだわら市民交流センターＵＭＥＣＯ

5　地産地消による地域経済循環　【産業政策課】

(1) 小田原・箱根「木・技・匠」の祭典　（産業政策課）

日時：10月10日（土）・11日（日）午前10時～午後４時

場所:小田原三の丸ホール、小田原市観光交流センター(にぎわい広場含む)

(2) 小田原あじ・地魚まつり2026　（水産海浜課）

日時：10月25日（日）午前９時～午後２時

場所：小田原市公設水産地方卸売市場内（水産市場１階）

(3) きまつり2026　（農政課）

日時：11月３日（祝・火）午前10時～午後４時

場所：小田原市いこいの森（あそびの広場)、フォレストアドベンチャー小田原

(4) 健やかな食のまち小田原「ローカルフードマルシェ」　（観光課）

日時：11月21日（土)・22日（日）午前10時～午後３時

場所：小田原城址公園　二の丸広場

６　小田原ならではの文化によるまちづくり　【文化政策課】

(1) おだわらカルチャーアワード2026　（文化政策課）

日程：令和９年３月28日（日）時間未定

場所：小田原三の丸ホール

(2) アートが繋ぐ歴史的建造物回遊イベント　（文化財課）

期間：令和９年３月13日（土）～28日（日）の土・日曜日、祝・休日
午前10時～午後４時

場所：旧松本剛吉別邸

７　未来を創る都市デザイン　【都市政策課】

(1) 小田原駅西口広場の概略設計　（都市計画課）

西口広場の再編と隣接街区の再開発との一体的な整備を視野に、地元まちづくり組織等の関係者と連携しながら、西口広場等の概略設計や、広場と隣接街区との相互利用の検討に着手しました。

(2) AIオンデマンド交通の実証　（地域交通課）

新たな移動支援策として、令和８年11月から、AIオンデマンド交通実証事業を開始します。

※詳しくは、発表事項３でご説明いたします。

定例記者会見資料３
令和８年 10 月５日（月）
都市部地域交通課
電 話 0465-33-1508

AIオンデマンド交通実証事業について

１　概要

日中に路線バスの運行していない空白時間帯が生じている地域や、駅・バス停から離れている地域において、地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するための実証事業を実施していますが、前羽・下中地区では、路線バスの減便や路線廃止による交通空白の懸念等があることから、これまでの「おだチケ実証事業」に代えて、令和８年11月から、「AIオンデマンド交通実証事業」を開始します。

※ AIオンデマンド交通：

利用者の予約状況に応じて、AIが最適な運行ルート、配車時間の設定をリアルタイムで行う、乗り合いの輸送サービス。

２　事業実施概要

（１）委託事業者

事業者区分	事業者名	担当業務
委託事業者	（同）うさぎ企画	企画・運営管理
協力事業者	伊豆箱根交通（株）	運行
	（株）ヴァル研究所	利用者向け予約アプリの開発・運用
	（株）未来シェア	AI配車システムの開発・運用

（２）運行概要

ア　形態

区域内に乗降スポットを設定し、利用者から事前予約があった場合に運行する乗合方式のAIオンデマンド交通とします。

イ　期間・日時

11月12日（木）～令和９年３月31日（水）午前９時～午後５時

※AIオンデマンド交通が運行する時間帯の路線バスは減便

ウ　車両

10人乗りワゴン車（客席数９人）・２台

愛称：乗合バス「たっちぃ」

※愛称の由来：橘地域、タッチ＝触れ合いを連想させるもの

エ　運行区域及び乗降スポット（地図は３ページ参照）

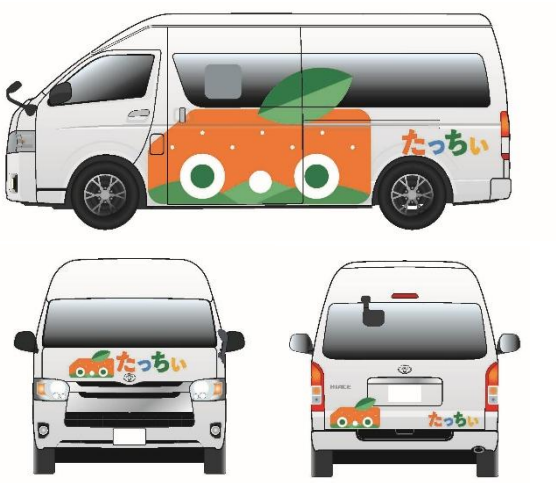
前羽・下中地区内から国府津駅（区域外乗降スポット：山近記念総合病院）

乗降スポット：全43カ所（バス停の使用は、交通管理者協議の上、決定）

オ　ロゴマーク・車両ラッピングイメージ



▲ロゴマーク



▲車両ラッピングイメージ

（３）利用方法

ア　利用者

基本的に誰でも利用可能

※車いす等の乗降に関する注意事項あり

イ　予約方法

(ｱ) 専用アプリを通じた予約（小田原市公式LINEアカウント経由）

(ｲ) 電話予約（専用電話番号は10月末頃に決定）

ウ　支払い方法

クレジットカードによる事前決済または車内での現金決済

（４）運賃

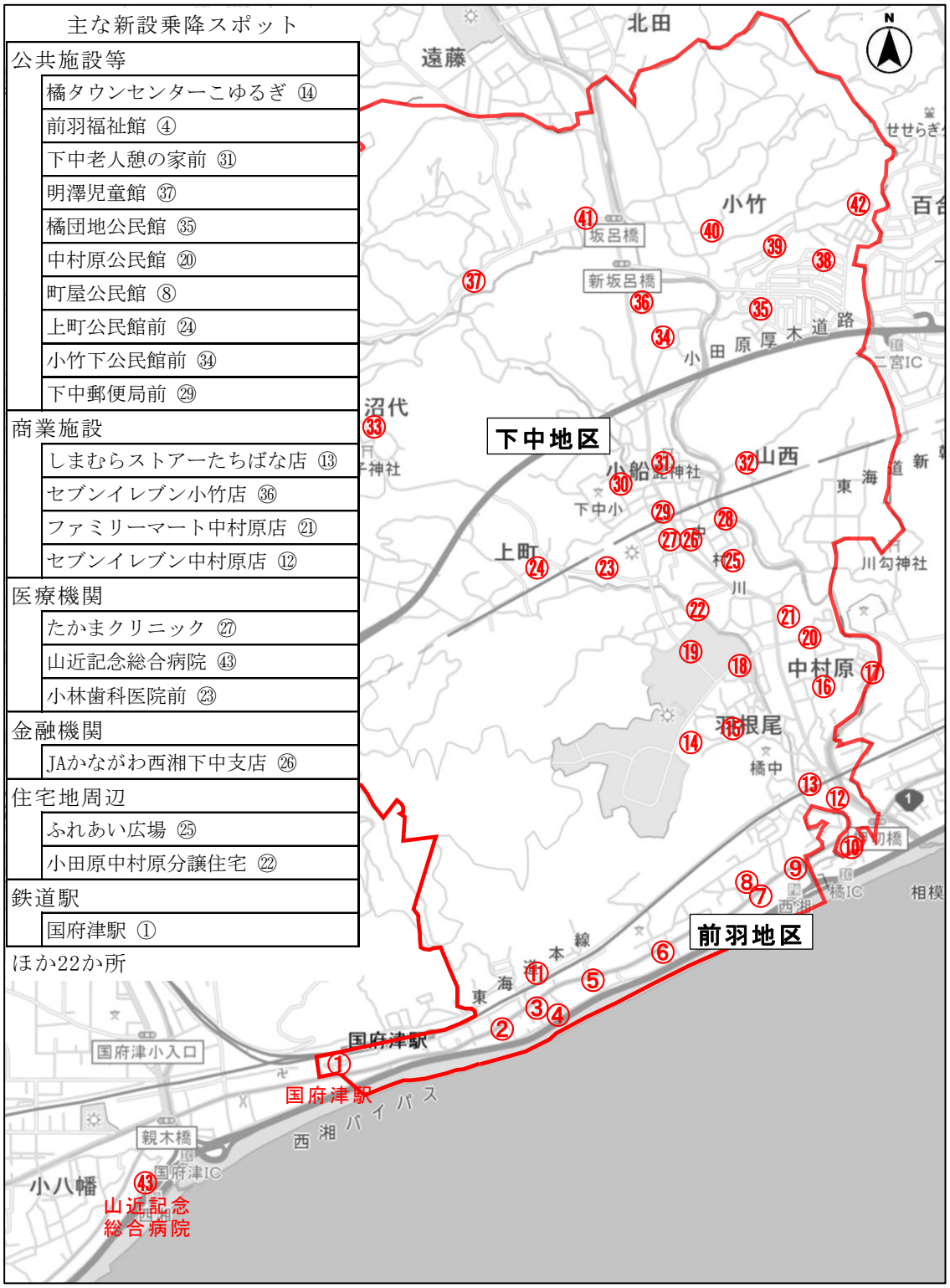
区分	直線距離３ｋｍまで	直線距離３ｋｍ超
大人	300円	500円
こども・障がい者	150円	250円
未就学児	無料	

（５）運行区域及び乗降スポット図

主な新設乗降スポット

- 公共施設等
  - 橘タウンセンターこゆるぎ ⑭
  - 前羽福祉館 ④
  - 下中老人憩の家前 ㉛
  - 明澤児童館 ㊲
  - 橘団地公民館 ㉟
  - 中村原公民館 ⑳
  - 町屋公民館 ⑧
  - 上町公民館前 ㉔
  - 小竹下公民館前 ㉞
  - 下中郵便局前 ㉙
- 商業施設
  - しまむらストアーたちばな店 ⑬
  - セブンイレブン小竹店 ㊱
  - ファミリーマート中村原店 ㉑
  - セブンイレブン中村原店 ⑫
- 医療機関
  - たかまクリニック ㉗
  - 山近記念総合病院 ㊸
  - 小林歯科医院前 ㉓
- 金融機関
  - JAかながわ西湘下中支店 ㉖
- 住宅地周辺
  - ふれあい広場 ㉕
  - 小田原中村原分譲住宅 ㉒
- 鉄道駅
  - 国府津駅 ①

ほか22か所



３　出発式等

実証運行開始日前日に、次のとおり出発式及び住民向け試乗会を開催します。

なお、出発式の詳細については、別途ご案内いたします。

（１）概要

ア　日時

11月11日（水）午前10時30分～11時15分

イ　場所

橘タウンセンターこゆるぎ

ウ　式典内容（予定）

(ｱ) 式辞（市長挨拶）

(ｲ) 来賓挨拶

(ｳ) 事業者挨拶・概要説明

(ｴ) 来賓紹介

(ｵ) テープカット

(ｶ) 出発

※出発式に続き、住民向け試乗会を行います。

参考資料（合同会社うさぎ企画 プレスリリース）

交通空白を救うオンデマンド交通「乗合バス　たっちぃ」 橋地域で 11 月から運行開始

―輸送だけでなく、移動需要を喚起する停留所との交流会開催など、地域活性化のノウハウを発揮―

２０２６年１０月５日
合同会社うさぎ企画

コミュニティデザインとモビリティによる地域活性化に取り組む合同会社うさぎ企画（以下、当社）は、小田原市より事業を受託し、中井町と二宮町との市境に隣接する**橘地域で交流型オンデマンド交通「乗合バス　たっちぃ」（以下本サービス）の実証運行を、2026 年 11 月 12 日（木）より開始**します。

本サービスは、山近記念総合病院から国府津駅を経由し、橘地域にかけた **4 キロ×３キロ圏内に停留所 43 箇所**を設けます。停留所間を好きな時間に移動できるオンデマンド交通は、路線バスのように決まった路線や時刻表がなく、予約や道路状況に合わせて、最適な送迎時間とルートを AI が計算し運行します。**小田原市公式 LINE 経由の専用アプリまたは専用コールセンターから予約が可能で、**乗車 10 分前まで予約できます。**料金支払は、クレジットカードでの事前決済・現金での現地決済**のいずれにも対応します。

橘地域は、路線バスの減便等により、交通空白地帯の発生が危惧される中で、**小さい移動需要を効率的に吸収**できる点と、**停留所施設と連携した交流会開催によるエリア活性化の実績**という点から、当社の交流型オンデマンド交通が採用されることになりました。

橘地域では、**起伏のある地形もあり、シニア層や子育て層が、通院や買物といった日常の移動制約**を抱えています。住民の日常移動をオンデマンド交通で支援しつつ、**停留所での交流会や運転手との会話によって移動したくなる動機を作りだす**ことで、移動と交流の相乗効果によってエリアを活性化させます。**サービス初年度は、1 日あたりの輸送人数 40 人、リピート率 50%を目標値**として掲げつつ、**シニア層の外出促進や免許返納促進といった副次的な効果**につなげていきます。

本サービスの名称**「乗合バス　たっちぃ」**は、橘地域を走る車両と運転手が乗客や運転手の心に触れ、また乗り合わせた住民同士の触れ合いによって、橘の実のように明るい地域にしていきたい、という想いを込めて名付けられました。ロゴマークは、名前の由来である地域の「橘」を、オンデマンドバスに見立てたデザインです。シンプルな形と明るい色づかいで、子どもから高齢者まで覚えやすく、人とまちをつなぎながら走る「地域の足」として親しまれる存在を目指しています。

当社は、**1 日 50 人以上の乗客・70%以上のリピート率を実現する静岡県長泉町の交流型オンデマンド交通「SPICEBOX」の運営実績**など、**誰もが安心して使える交通サービスの運営と、運転手の接遇向上や停留所との交流会開催を通じた地域活性化のノウハウ**があります。そのノウハウを活かして、橘地域の課題解決と活性化に貢献していく所存です。



実証運行の概要

運行開始日：2026 年 11 月 12 日（木）
運行エリアと停留所：山近記念総合病院～国府津駅～橘地域の 4 キロ× 3 キロ圏内に停留所 43 か所を設置
運行時間と運行台数：毎日 9 時～17 時　乗客 9 名乗りの大型ワゴン 2 台
運賃：3km まで：大人 300 円、子ども・障がい者 150 円 / 3km 超：大人 500 円、子ども・障がい者 250 円
発注者：小田原市
受託事業者：合同会社うさぎ企画（運行事業者：伊豆箱根交通（株）／システム開発者：（株）ヴァル研究所）

<本リリースに関する問い合わせ先>
合同会社うさぎ企画　担当：藤森（nozomi.fujimori.1@gmail.com）